

実験報告書

福岡県豊前市三毛門1087-2
 会社名: 伸力工業株式会社
 TEL 0979-53-9391
 FAX 0979-53-9392

目的: 回収性能の維持をしつつも、スラッジの固化化の提案。

使用品: 循環水150cc
 弊社薬剤名: パワミラー



やり方: 処理剤未使用の企業様に循環水をサンプルとして頂き、弊社処理剤を投入する。
 循環水にパワミラーを投入し、30回の強振後に静置しフロック形成の経過観察を行う。
 固化化を防ぐためにも、一液のみで浮上分離性、清澄性を確認する。

No.1



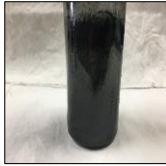
循環水150ccに1,000ppm(0.15cc)投入。
 循環水への塗料溶け込み量に対し、
 処理剤が不足している為、変化が見られない。

No.2



循環水150ccに5,000ppm(0.75cc)投入。
 No.1同様にフロック形成等の変化はないが、
 微発泡の確認。

No.3



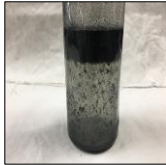
循環水150ccに10,000ppm(1.5cc)投入。
 No.2と比較すると発泡性が強くなったが、
 清澄性が確認出来るようになってきた。

No.4



循環水150ccに15,000ppm(2.25cc)投入。
 発泡性が少なくなり、フロック形成良好。
 清澄性もNo.3より良好。
 浮上分離性良好。

No.5



循環水150ccに20,000ppm(3.0cc)投入。
 発泡性・清澄性・浮上分離性いずれも良好。

見解

この度使用した循環水は（アクリル系）処理剤未使用の為、初期投入量が多くなっている。
 結果として、問題なく清澄性・浮上分離性が確認出来ました。
 今回のトライでは凝集剤は使用しておりませんので、スラッジの乾燥等による固化化は
 防げると考えております。
 会社様方、ご希望する形とスラッジの状況によって投入量のご提案をさせて頂いています。
 塗装ブースの構造によって異なる事がありますので一度確認と把握をさせて頂いています。